

社会資本整備重点計画

これまででは・・・

作る側の視点

これまでの長期計画（五箇年計画）は、作る側の視点である「事業費・事業量」に目標を置き、高度経済成長を支える重要な社会基盤整備など多くの成果をあげてきましたが、事業分野別の長期計画に対しては批判もありました。



事業分野別の長期計画

(H10~H14) 道路	(H8~H14) 交通安全施設	(H8~H14) 空港
(H8~H14) 港湾	(H8~H14) 都市公園	(H8~H14) 下水道
(H9~H15) 治水	(H10~H14) 急傾斜地	(H8~H14) 海岸

今、求められているものは・・・

時代の要請への対応

公共事業に対する国民の多様な要請や近年の社会情勢変化に的確に対応するためには、効率的な整備は勿論のこと、より質の高い社会資本整備が必要となっています。



- 低コストで質の高い事業
- 国際競争力強化
- 安心して暮らしやすい社会
- 環境問題への対応 など



これからは・・・

使用する国民側の視点

これからの長期計画は、国民から見た視点である「達成される成果」へと目標を転換し、事業分野間の連携強化など、時代の要請に応じた社会資本整備事業を進めるために変わります。そのための計画が社会資本整備重点計画です。



- 成果主義への転換
- 事業間連携による効果拡大
- ムダの排除
- 重点投資 など



9本の長期計画を一本化

社会資本整備重点計画

道路	交通安全施設	空港	港湾	都市公園	下水道	治水	急傾斜地	海岸
----	--------	----	----	------	-----	----	------	----